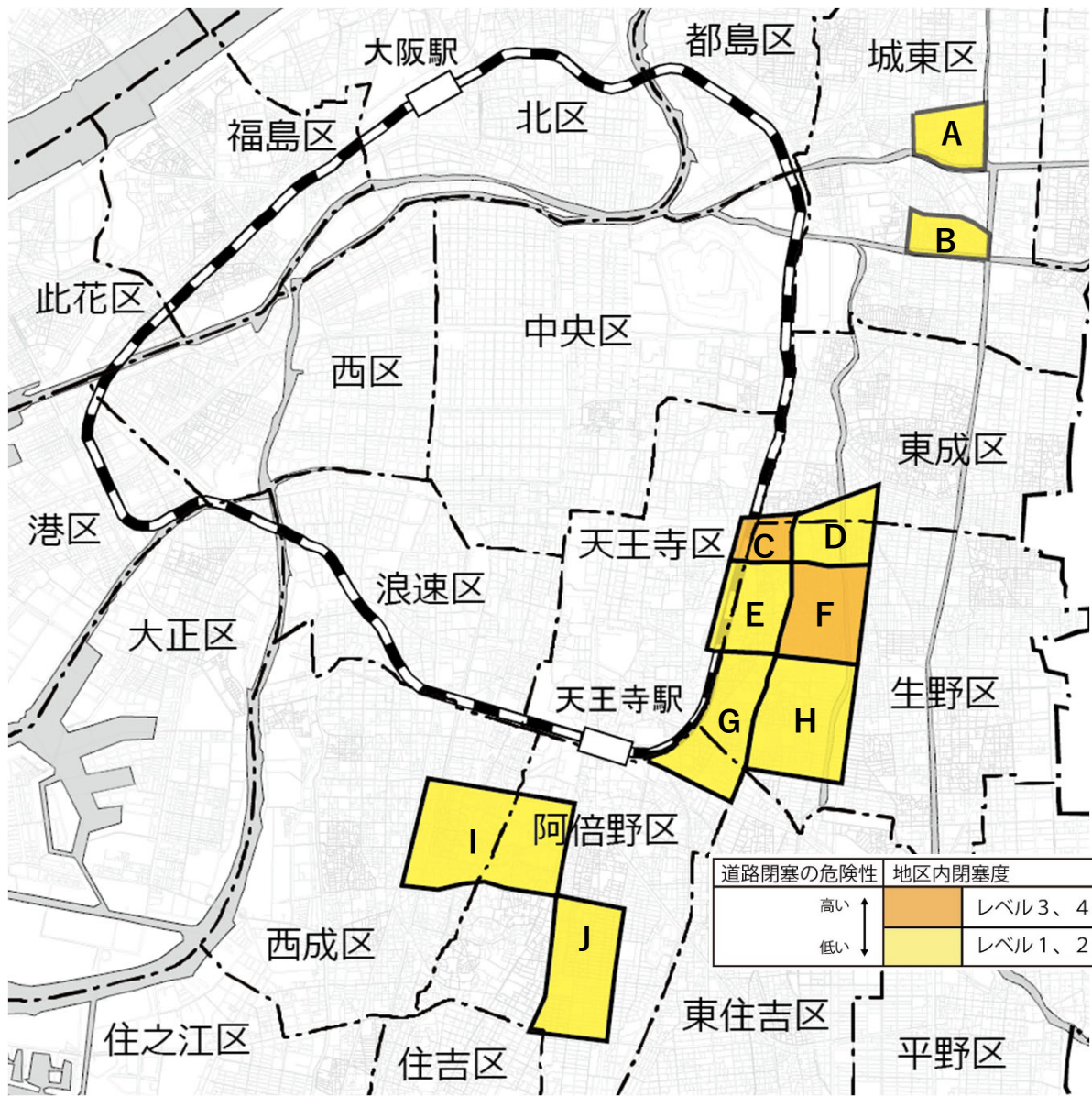


重点対策地区における地区内閉塞度の状況（令和7年度末時点）

地区内閉塞度は、地震時等に地区内の道路を通じて周縁部まで避難できる「逃げやすさ」を表す指標で、道路状況などから算定される。5段階のうち、レベル1またはレベル2であれば、道路閉塞の危険性は低くなる。



| 道路閉塞の危険性 | 地区内閉塞度 |
|----------|----------|
| 高い ↑ | レベル3、4、5 |
| 低い ↓ | レベル1、2 |

| 防災街区 | 街区面積 | 地区内閉塞度 |
|------|------|--------|
| A | 35ha | レベル2 |
| B | 25ha | レベル1 |
| C | 24ha | レベル3 |
| D | 46ha | レベル2 |
| E | 56ha | レベル2 |

| 防災街区 | 街区面積 | 地区内閉塞度 |
|------|-------|--------|
| F | 65ha | レベル3 |
| G | 79ha | レベル2 |
| H | 96ha | レベル2 |
| I | 132ha | レベル2 |
| J | 83ha | レベル2 |

※「大阪市密集住宅市街地整備プログラム（令和3年3月）」の策定時に重点対策地区として設定した10防災街区を範囲として地区内閉塞度の状況を色分けして示しています。